

教科	英語	単元名	関係代名詞
----	----	-----	-------

本時のねらい

・自分が紹介したい人物について関係代名詞を使って英作文し、特徴や特筆すべきポイントについて、事実や自分の考えを整理し、既習の文法を用いて伝える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Microsoft PowerPoint を使い、プレゼンテーションを行うための資料を作成することができる。
- ・英作文を行う際、オンライン和英・英和辞典を使い各自で調べることができる。
- ・Microsoft Forms を使い、他者評価をすることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・Microsoft PowerPoint ・Microsoft Forms ・インターネットエクスプローラー（検索） ・大型提示装置

本時の展開（全 4 時間計画：4 時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○評価内容の確認 ・評価のための項目や基準などの詳細について説明する。 ○発表の準備 ・自分が作った Microsoft PowerPoint の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft PowerPoint の画面を確認し、発表の準備をする。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○1人ずつ前に出て発表 ・聞いている生徒は「Microsoft Forms」で評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した Microsoft PowerPoint を大型提示装置に写し、全体共有しながら発表する。 ・Microsoft Forms で発表者の良い点を選択する。また、参考になる点や改善点は文章で入力する。文字入力が苦手な生徒はプリントに書く。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○振り返り ・発表を聞いて、次に発表するときに生かしたいことなどを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの内容 ※他の人の発表を聞いて感じたこと、次に向けて意識すること、発表を終えて自分ができたところなどを振り返りプリントに記入する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1：発表している場面



写真2：発表の相互評価をしている場面



写真3：Microsoft Forms で評価してもらったことを確認している画面

児童生徒の反応や変容

- ・自分が興味・関心のある人物について調べるので、積極的に取り組むことができた。
- ・インターネット検索と併用し、その人物に関係する書籍から情報を得るなど、効果的に情報収集することができた。
- ・事前に評価する項目を示すことにより、自分の発表においても、どのような点に気をつけるべきか考えて発表できた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・英文を作成する際にわからないことは、オンライン和英・英和辞典を使うことで、各自が自分のタイミングで素早く調べることができる。
- ・Microsoft PowerPoint を使うことにより、自分が作った英作文を何度も見直す機会が増え、学習の定着につながる。
- ・Microsoft Forms を使うことにより、データ収集が瞬時にでき、すぐに全体で共有することができる。